

## インターンシップ参観記

7月7日午前、アスクネットの肥田さんに同行させていただきインターシップ先4カ所に行つて来ました。生徒の名前が分からないので申し訳ありません。(肥田さんは生徒の名前を掌握していて事業主さんとは生徒の名前をあげながら話をしていました。さすがですね。)

### <弥富建設>



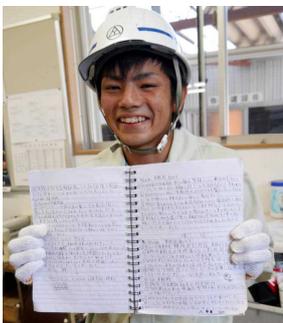
#### 朝のミーティング

今年は若手社員に研修を担当させているとのこと。今日は重機が動いている現場での作業なので特に念入りな確認が行われていました



#### 地均し機を二人がかりで操作

事務所横に建設中の建物の埋め戻しや地均しをしていました。若手社員がよりそって指導してくれます。



この春入社した卒業生の佐藤君。手にしているのは日誌のようなもので、その日に気づいた事や先輩のすごいと感じた事などを毎日書き込んだものです。「整頓」をちゃんと漢字で書くように指導が入ったり、所々社長さんや指導者さんの朱筆が入っています。丁寧に育てて頂いているのが分かります。社長さんは笑いながら「欠勤届をラインでしてきたことがあって注意した。」というエピソードも紹介してくれました。研究授業で見ていると比べると随分たくましくなったと感じました。

### <まめのき整骨院>



通院の方々がすでに何人も来ていて、2人の生徒は先生の指示(必要な時だけ)にしたがって来院者に電極(?)をつけたり器機の強さを調整したりと大忙しです。一人の来院者が終わってベッドがあくと、手早く除菌スプレーを吹き付けてベッドや枕の掃除。先生に言われなくても自分から素早く動いている姿が印象的でした。

## <元気づくりジム>



ヨシヅヤ弥富店の中にあるジムでは様々な器具を使ってご婦人方がトレーニングに励んでいます。黎明の生徒二人は器具を使う時の補助や、「一、二、三」というかけ声を来訪者と一緒に声を出してリズム作りに一役買っていました。妙齢の女性達に少々気恥ずかしさと気後れがあるのか、緊張気味でした。

## <エスポア>



とてもオシャレな外観のフレンチレストラン「エスポア」

ランチタイムが11時からなので開店前の10時半過ぎに伺いました。生徒は本格的な制服と前掛けをお店から貸してもらいちょっと誇らし気ですね。胸には「高校生 研修中」のプレートもつけています。このプレート、お客さんとコミュニケーションをとる便利な小道具の役割も果たしています。11時の開店と同時に4人組のマダム達が来店。水とおしぼりを運ぶ二人に「あら、高校生なの。どこの学校？」と向こうから声をかけてくれます。2人連れの女性客が続いて2組来店。じゃまにならないよう店を出ましたが、飾られているケーキやサンドイッチに誘惑され私は「アップルパイ」を2個買いました。肥田さんも後で来た福手先生もそれぞれ誘惑に負けていました。余談ですが「アップルパイ」にはうるさい妻が絶賛していました。

<感想>たった半日で4カ所を回っただけですが、インターンシップを受けて頂いた事業所の方々が「生徒のために何かしよう」という思いを強く持たれていることが良くわかりました。昨年までとは違う内容を新たに用意したり、研修に当たるスタッフを変えたり、制服やプレートを用意してくれたり、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。この体験から何を学ぶのか？お礼状の作成の時に、生徒一人ひとりが学んだことに基づいて感謝の言葉を綴れるように「ふりかえり」の作業が大切になると思いました。地域の人達に育てられる学校—それを実感できる私のインターンシップ参観体験でした。